

さつと、  
忘れられない夏になる



僕にとって はじめての冒険だった

手元のメモを何度も見返す——もうすぐ着くはずだ

車窓に流れる空も 雲も、いつも見ている景色なのに

今日はぜんぶが新しく 胸が高鳴った

僕がもっと小さいころ、家族で来たこのまちの祭り

煌々と光るやぐらの眩しさと、人々の熱狂が

今も目に焼き付いている

お父さんが生まれ育った場所だ

電車がゆつくりと停車する

ホームを吹き抜ける風に、足が少しもつれた

おじいちゃんとおばあちゃんが 僕を見つけて 手を振った

「おかえり、ひとりでもよく来たね」

ただいまといえる場所が、ここにもあったんだ

物語をのせて、今日を走る

上毛電鉄。

\*レトロ車両(デハ101)は、臨時及び貸切時のみ運行しています。(2022年3月現在)

 上毛電気鉄道株式会社

上電沿線市連絡協議会 群馬県・前橋市・桐生市・みどり市